

## 序 刊行にあたって

「日本女子体育大学の紀要第50巻」が出来上がりました。本紀要は本学が教員の教育研究の成果報告書としてこれまで長年積み上げてきました。本年は50巻として記念すべき年になりましたが、例年より若干投稿数が少なかったことが悔やまれます。これに関しましては、2学科4専攻から4学科への改組に伴う教員の業績審査のために、数年早い時点での投稿の影響が出たものと思われまます。

この度、私立学校法改正に伴い中期計画策定の義務づけやガバナンスの強化が求められ私立大学においては、これまで以上に教育の質の向上、運営の透明性確保が求められ、また、財務情報に関してもウェブサイトによる公表が義務づけられました。認証評価における適合・不適合の認定を必須とし、これまでの教育と研究の2本柱で進めればよいというものではなく、それらが社会の理解と支援を得られるようにし、学生が安心して学べる環境を整備することを促すねらいがあります。このことから、大学の在り方や教育研究の質の向上は必須であり、一人ひとりの教員が自らの教育・研究の現状を把握することや、日々の研鑽が求められています。

本学では本紀要以外に基礎体力研究所による紀要、トレーニングセンター発行の紀要、平成30年に発刊した大学総合研究があります。それぞれの紀要にはねらいや特徴があり、研究所の紀要は「運動に対する身体の適応・生理学的研究」、「女性競技選手の身体的特性に関する研究」、「中高年者の運動処方に関する研究」、「子供の身体的特性の研究」の4つのテーマが中心になっています。トレーニングセンター紀要は主に運動技術に関するテーマが多く扱われており、総合研究はどの分野でも積極的に投稿でき、教員の研究への取り組みを奨励する形をとっているところが特徴と言えます。

これらの紀要の活用によって、本学の教員の研究の促進を一層期待すると共に、教員の研究と研鑽が学生の教育に還元でき、学生のより良い教育環境を構築していく事を期待と希望いたします。

令和2年3月

日本女子体育大学  
学長 石崎 朔子

